

第 86 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録(案)

I. 日 時: 2017 年 7 月 24 日 (月) 13 時 30 分～16 時 00 分

II. 場 所: 日本機械学会 第 3・4 会議室

III. 出席者: 伊藤 (IHI)、西川(NIMS)、吉田 (東電 FP)、木村 (NIMS)、俣野 (KHI)、
菊原 (MHPS 呉)、長谷川(発電技検)、長谷川 (中部電力)

オブザーバー: 芝 (関電)

欠席: 森 (新日鐵住金)、

事務局: 原

IV. 配付資料

86-1 第 85 回材料分科会議事録 (案)

86-2 材料分科会委員名簿

86-3 第 80 回火力専門委員会議事録 (案)

86-4 第 35 回材料専門委員会議事録 (案)

86-5 第 81 回発電用設備規格委員会議事録 (案)

86-6 火力専門委員会書面投票 No71、メール審議 No4 結果報告

86-7 高クロム鋼の強度見直しに係る規格委員会書面投票状況

86-8、9 欠番

86-10-0-0 対比表 本文

86-10-0-1 変更点集約表

86-10-1-1 表Ⅱ-1-1 新旧対比表

86-10-1-1 備 表Ⅱ-1-1 備考対比表

86-10-1-2 表Ⅱ-1-2 新旧対比表

86-10-1-3 表Ⅱ-1-3 新旧対比表

86-10-1-4 表Ⅱ-1-4 新旧対比表

86-10-2-2 表Ⅱ-2-2 新旧対比表

86-10-2-3 表Ⅱ-2-3 新旧対比表

86-10-3-1、2、3 表Ⅱ-3-1、2、3 新旧対比表

86-10-4-1、2、3 外圧チャート、物理的性質

86-10-5 補遺 新旧対比表

86-10-6 JIS 年版変更評価検討票

86-11 審議履歴表

V. 議 事

1. 前回議事録確認

【資料 86-1】

前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

○ 4.(2)5) と 4.(2)7) の 2 箇所 工種 → 鋼種

2.分科会委員・役員の承認

【資料 86-2】

妹尾委員の退任が報告された。 新任委員候補として芝氏を、再任委員候補として西川委員（副主査）、吉田委員（幹事）を火力専門委員会に推薦することが、出席委員全員の賛成により承認された。

委員名簿において、委員の所属が古いままのところは、事務局が次回の火力専門委員会までに修正する。

3.報告事項

(1)火力専門委員会報告

【資料 86-3】

5 月 18 日開催の第 80 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○第 85 回材料分科会報告

- ・発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格の審議状況報告
- ・発電用火力設備規格 201X 年版の審議状況報告

○火力設備配管減肉管理技術規格（2016 年版）が、3 月 31 日付けで定期事業者検査の方法の解釈に取り入れられたことが報告された。

○審議結果報告

- ・発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格の提案、火力専門委員会書面投票の実施承認が報告された。

(2)材料専門委員会報告

【資料 86-4】

5 月 31 日開催の第 35 回材料専門委員会の主要項目が報告された。

○材料事象に関する解説 2014 年版の改訂について

○材料試験規格の技術評価について。

○引張試験のひずみ速度条件の問題点とその対応について他

(3)発電用設備規格委員会報告

【資料 86-5】

6 月 6 日開催の第 82 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会(5/18 開催)の報告

○発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格の提案、審議状況報告

(4)火力専門委員会書面投票 No71、メール審議 No4 結果報告

【資料 86-6】

○事務局から、火力専門委員会書面投票 No.71（5/19～6/19）が可決となったこと及び書面投票の意見対応による修正案のメール審議（6/23～6/30）が同じく可決となったことが報告された。

○伊藤主査から、火力専門委員会の書面投票における主な意見とその対応案について、紹介があった。

○木村委員から、ASME における Gr.91 系鋼の許容引張応力値の引き下げの動きについて、情報提供があった。その内容は、製品形状に係らず同じ値で、機械学会の値より低い値への改定提案であり、ASME では先週一旦否決されたが、引続き 8 月のコードミーティングで議論される予定とのこと。

これに関連して、機械学会の設定している Gr.91 系鋼の許容引張応力値は JSME にて技術評価を行った根拠のあるものであるもので、ASME において値が機械学会の数値より引き下げられた場合でも、今後の改訂に ASME の見直し値を反映する必要はないとの、材料分科会としての基本的な立場を確認した。

- (5) 規格委員会書面投票 No.373 の投票状況報告 【資料 86-7】
伊藤主査から、規格委員会の書面投票 No.373（7/5～8/4）の投票状況、意見対応状況について報告があった。

4. 審議事項

- (1) 201X 年改訂案の提案資料確認 【資料 86-10-1～5】

- 吉田幹事から、表Ⅱ-2-1 以外の 201X 年改訂案の提案資料（変更点集約表、対比表など）について説明があった。表Ⅱ-2-1 については、現在ダブルチェック中である。
- 引き続き、提案資料について修正点、コメント事項などがあれば、吉田幹事に連絡する。

- (2) 表Ⅱ-1-1 に係る、JIS 年版変更評価検討票 【資料 86-10-6】

長谷川（忠）委員から、表Ⅱ-1-1 に係る JIS 年版変更評価検討票について説明があり、審議を行った。

- 規格の変更点について、規定の厳格化（適用範囲の限定、(注)→本文など）、明確化（分かりづらい表現の修正など）、適正化（実績の反映、表現の適切化、誤記修正など）、他の規格との整合化などにカテゴリー分けして、評価を実施。
- JIS G 3459
JIS 規格における SUS321TP 及び SUS321HTP の熱間仕上げ材(低強度材)に関して、機械学会規格においては、引張強さ・耐力の規定値（規定最小引張強さ・耐力）から使用不可となり、備考などの追記を行わなくても問題がないことを確認した。
- JIS G 4303,4311
引張試験における引張速度について、マルテンサイト系のひずみ増加率を低くした件は、安全サイドへの変更なので、問題のないことを確認した。
- その他誤記修正を行う予定。

- (3) その他

- 次回の分科会では、表Ⅱ-2-1 の最終原稿の確認、JIS 年版変更評価検討票の確認が主な審議事項となる。
- 表Ⅱ-2-1 に係る JIS 年版変更評価検討票については、状況により各委員に検討票の作成をお願いすることもあるので、その場合はよろしくお願いしたい。

VI. 次回開催予定

日 時 : 2017 年 10 月 18 日 (水) 13 : 30 ~ 17 : 00

場 所 : 日本機械学会 第 3,4 会議室

以 上